

まえがき

このほど、ICUに日本語教育研究センター (Research Center for Japanese Language Education) が発足した。本紀要はその初年度の報告である。

このセンターは、世界的に多様化した日本語教育の現状に対応するため、教養学部の日本語プログラムと補完し合いながら、研究と教育を行うことを目的としている。ここでは、日本語教育の特性としての、広い視野に立った研究および教育を目指している。

今までのところでは、センター発足から日が浅く、組織もまだ出来上がっていないことから、独自の活動はそれほど行っていない。夏期日本語教育のほかには、3月に「日本語教育ワークショップ」を開催したことぐらいであろうか。

本紀要は、センター準備室のときから学部の日本語プログラムと共同で開発してきた、ICU日本語初級教科書（現在は試用版）に関する報告を中心としている。作成の意図、作業の手順や経過、およびその過程に現れた種々の問題点を記述することによって、よりよい教科書に仕上げるための方向を摸索してみたというのが実態である。これらを「特集：ICU日本語教材開発に関する報告」とした。

「論文」は、初級教材についてのいくつかの視点からのもの、新しい教授法および評価法に関するものを収めた。「報告」にある文章は、平和研究の学会に日本語教育の分野から参加した際の報告である。最後に「調査資料」として、ICUの帰国学生を対象とした日本語コースで行った調査の資料の一部を載せてある。今後の教育に生かすことのできる貴重な基礎資料となるものである。

本センターの性格や事業について、学内外での理解を得るには時間がかかると思われるが、ICUの日本語教育関係者全員がこのセンターに係わることになり、日本語教育および関係分野への貢献をなすべく努力していこうとしている。この紀要がそのことに多少でも役立てばよいと願って、未熟ながら刊行したものである。

最後に、センター発足に向けてご努力いただいた、学内行政当局、設置審議委員会関係の教職員の方々、各事務局の方々に心から感謝申し上げたい。

1991年3月31日

国際基督教大学日本語教育研究センター長

稲垣 滋子